

僕たちは 希望という名の 列車に乗った

監督・ Lars Kraume 『アイヒマンを追え！ ナチスがもっとも畏れた男』
原作・ デイトリッヒ・ ガルスカ 沈黙する教室 『テルフェー タフク スリ 4月発刊予定』
出演・ レオナルド・ シイヒャー、 トム・ クラメツ、 ヨナス・ ダスタ、 ロナルド・ ツェアフルト 『東ベルリンから来た女』、
ブルクハルト・ クラウスマー 『アイヒマンを追え！ ナチスがもっとも畏れた男』
2018年 ドイツ映画 111分 原題・ The Silent Revolution 日本語字幕・ 吉川美穂子 協力・ ケーティン・ テイトウ・ 東京
配給・ アルバ・ ロスフィルム・ クロコワクス

1956年 冷戦下の東ドイツ。
高校生たちのたった2分間の黙祷が、
やがて国家を揺るがす大事件に発展する。
友を密告してエリートへの階段を上るのか？
信念を貫いて労働者として生きる道を選ぶのか？
クラスメイト19人の驚くべき決断とは——。
心揺さぶる感動の実話。

なぜ、越えなければならなかったのか——

STUDIOCANAL PRESENTS A LARS KRAUME FILM AN AKZENTE PRODUCTION IN CO-PRODUCTION WITH ZERO ONE FILM STUDIOCANAL FILM WUNDERWERK AND ZDF. THE SILENT REVOLUTION. STARRING LEONARDO SCHIECHER TOM GRAMENZ LENA KLENKE JONAS DASSLER ISAHIA MICHALSKY RONALD ZENRITZ GABRIEL JAKS JÓRDIS TRIEBEL
MICHAEL GWISDEK MAX HOPP AS GUEST BURGHART KLAUSNER CINEMATOGRAPHY JENS HARANT CASTING NESSIE NESSLAUER PRODUCTION DESIGNER OLAF SCHIEFNER COSTUME DESIGNER ESTHER WALZ MAKE UP BY HANU JENS BARTMAN ORIGINAL SOUND BY ANDREA BRUNO DESIGNER STEFAN SOLTAU EDITOR BARBARA GIES SCRIPT BY CHRISTOPH M. KAISER PRODUCTION DESIGNER LARS KRAUME PRODUCED BY ANDREA BRUNO
LINE PRODUCER FRANK HECHLER EXECUTIVE PRODUCERS SUSANNE FREYER CO-PRODUCERS THOMAS KUFUS ISABEL HUND KALLE FRIZ LARS KRAUME TV-EDITOR CAROLINE VON SENDEN PRODUCED BY MIRIAM BÜSSEL WRITTEN BY LARS KRAUME BASED ON THE EPIC NOVELS BOOK BY DIETRICH GARSTKA PUBLISHED BY WALTER FISCHER AND DIRECTED BY LARS KRAUME
CO-PRODUCED BY MBB FFA FFF BAYERN DIFF FFFSH AND BKM WITH THE SUPPORT OF THE CREATIVE EUROPE PROGRAMME CO-PRODUCED BY THE EUROPEAN UNION AND EQUINOXE EUROPE

bokutachi-kibou-movie.com ARRI ALEXA akzente zero one film WUNDERWERK ZDF medienboard Baden-Württemberg FFA FFFSH EQUINOXE EUROPE PG12

すべては、たった2分間の 黙祷から始まった——

なぜ18歳の若者たちは国家を敵に回してしまったのか？
ベルリンの壁建設の5年前に
旧東ドイツで起こった衝撃と感動の実話



1956年、東ドイツの高校に通うテオとクルトは、列車に乗って訪れた西ベルリンの映画館でハンガリーの民衆蜂起を伝えるニュース映像を目の当たりにする。クラスの中心的存在であるふたりは、級友たちに呼びかけて授業中に2分間の黙祷を実行した。それは自由を求めるハンガリー市民に共感した彼らの純粋な哀悼だったが、ソ連の影響下に置かれた東ドイツでは“社会主義国家への反逆”と見なされる行為だった。やがて調査に乗り出した当局から、一週間以内に首謀者を告げるよう宣告された生徒たちは、人生そのものに関わる重大な選択を迫られる。大切な仲間を密告してエリートへの階段を上がるのか、それとも信念を貫いて大学進学を諦め、労働者として生きる道を選ぶのか……。

新たな実話映画に挑んだラース・クラウメ監督のもとに ドイツの若手有望株と実力派キャストが結集!

監督は、ナチスによる戦争犯罪の追及に執念を燃やした孤高の検事フリッツ・ハウアーにスポットを当て、ドイツ映画賞6部門を制した『アイヒマンを追え! ナチスがもっとも畏れた男』(16)の気鋭ラース・クラウメ。原作者ディートリッヒ・ガルスカ自身の実体験を綴ったノンフィクションを、緻密なリサーチで迫真のサスペンスと繊細にして深みのある感動のドラマとして描き上げた。また、注目すべきは本作のために発掘された新人俳優たちのフレッシュな魅力。そして過去の戦争や悲劇的な事実を語るができない親たちの愛と葛藤を体現するのは、『東ベルリンから来た女』(12)のロナルト・ツェアフェルトら旧東ドイツ出身の実力派キャストたち。無意識のうちに政治的タブーを犯してしまった若者たちが、仲間との友情や恋を育みながら、あるときはまっすぐに主張をぶつけ合い、人間として正しきこととは何かをひたむきに模索していく姿は観る者の心を強く揺さぶる。過酷な現実さらされた彼らの、人生のすべてを懸けた決断とは? 希望を追い求めた若者たちの“小さな革命”を未来へと続く“列車”とともに描き上げた感動の実録青春映画!



僕たちは希望という名の列車に乗った

監督・脚本:ラース・クラウメ「アイヒマンを追え! ナチスがもっとも畏れた男」

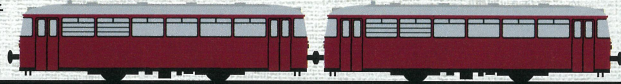
原作:ディートリッヒ・ガルスカ「沈黙する教室 1956年東ドイツ—自由のために国境を越えた高校生たちの真実の物語」(アルファベータブックスより4月発刊予定)

出演:レオナルド・シャイヒャー、トム・グラメンツ、ヨナス・ダスラー、ロナルト・ツェアフェルト「東ベルリンから来た女」、ブルクハルト・クラウスナー「アイヒマンを追え! ナチスがもっとも畏れた男」

2018年/ドイツ/ドイツ語/111分/シネスコ/原題:The Silent Revolution / 日本語字幕:吉川美奈子

協力:ゲート・インスティテュート東京

配給:アルバトロス・フィルム / クロックワークス



THE SILENT REVOLUTION

5月18日(土)より“心揺さぶる”衝撃と感動のロードショー!

前売券発売中! ¥1,500 (税込)
(劇場窓口にてお買い求め下さい。)

(当日一般¥1,800の他)

〈前売特典〉
「オリジナルポストカード」をプレゼント! (数量限定)

*未就学児童のご入場はお断りさせていただきます。自由席/定員入替制
*満席時と上映開始後のご入場は一切お断りいたします。



錦糸町駅・中電ビル東
名演小劇場
TEL.062(931)1701 http://maien.info